

日野市議会議員

白井 なおこ



市民が育てる日野・未来

レポート Vol.11

2021年7月5日発行

発行／日野・生活者ネットワーク
発行責任者／出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平2-3-12 中央白石ビル 4F
TEL.042-514-8695 FAX.042-514-8697
E-mail:hino-net@cap.ocn.ne.jp



議会一般質問

生活者ネットワーク悲願の「東京都子ども基本条例」が3月に東京都議会でも可決されました。日野市には「子ども条例」がありますが、それが活かされているか、多様な観点から検証、質問しました。また、地区センターの今後の運営のあり方についても提案しました。

子どもの人権の視点から見つめ直そう

小学校に入学すればランドセル、中学校に入学すれば女子はスカート、男子はズボン。それ以外を子どもは選べないのでしょか。教育委員会からの回答は「NO」ならばそれが十分に伝わる周知の工夫を要望しました。性別指定は、らしさの押し付け、それこそジェンダーです。誰もが選びたいものを選び、それを互いに認め合う環境の整備も合わせて求めました。

一方、若年層の妊娠や性被害、性感染症が問題となっています。その背景には、国際基準から大

2021.6.10 活動フォト



ストップ気候危機！
「G7直前！全国アクション」に参加しました。



権教育であり、子どもは学ぶ権利があります。学校と保護者で対話をはじめたいと教育委員会は理解を示しました。また、家族の世話や介護を担う18歳以下の子どももヤングケアラーについても、実態調査と支援を求めました。

幅に遅れた性教育が指摘されています。性教育は自身を守り、相手を尊重し、関

コロナ禍、子ども達はますます追い込まれ、虐待件数や子どもの自殺も増加しています。

「日野市子ども条例」に保障された権利を検証する条例委員会の設置と子どもを救済する第三者機関子どもオンブズパーソン制度を日野ネットは求め続けてきました。東京都の条例を後押しに、いまこそ必要性を強く要望しました。

市長からは、「これまで大人の視点でやってきたことは否めない。子どもの人権の視点にたつて条例にふさわしい運営の仕方を検討していく」旨、答弁がありました。

地区センターの運営を個別委託に

た。今後も厳しく見守っていきます。



日野市子ども条例

市内66ヶ所もある地区センターの運営を一括受託している日野市企業公社の解散が決まりました。その後の運営は、自治会、市民団体、NPOやワーカーズといった多様な担い手に、それぞれ地域の事情に合わせた個別委託が望ましいのではと提案しました。

長期計画の策定はこれからです。多くの市民が参画し、地区センターをもっと活用していく方法を一緒に考えていくことを求め、市もその方向性であることが確認できました。ぜひお声をお寄せください。

6月議会トピックス

●公契約条例の適用範囲が拡大します

これまで公契約条例は予定価格1億円以上の工事又は製造の請負契約が対象でしたが、次年度より学校給食、予定価格3,000万円以上の子育て支援、廃棄物収集等の委託契約にも拡大し、労働環境の適正化が進みます。

●生産緑地の市営市民農園が誕生！

生産緑地の貸借が可能になったことから、日野市は市民農園として借り受け活用します。農地を保全し、農業者の方を応援する仕組みとして、またまちづくりの観点からもさらに進めていくことを求めました。

●常勤保育士が確保できる条件整備を進める請願

国は、待機児童対策の一環として常勤保育士を短時間勤務の保育士2名の配置へ基準の緩和を認めています。緩和でなく引き上げと処遇改善を求め、また市内保育園の実態調査を要望しました。

●郵便投票の対象者拡充を求める意見書

国は先の国会でコロナ療養者の郵便投票を認めましたが、かねてより要介護者の投票機会の確保は検討課題です。現在の「要介護5」より対象者を拡充するよう日野市議会より国に求めました。(以上、すべて賛成)

日野市社会福祉協議会
042-591-11567



ある日のお弁当。
バランスが取れて美味しそう！

迷わず利用あるのみ！
産後家庭向け配食サービス開始
自分の食事は後回しになりがち、かつ孤立しがちな産後のお母さんを応援するサービスが始まりました。栄養バランスのとれた昼食を1食500円でお届けします。対象は産後概ね2ヶ月以内ですが、まずは気軽にお問合せを。